



第236回

緊急事態宣言

世界的なコロナウイルスの拡大が止まりません。この原稿を書いている4月5日時点で、日本に於いて未だ緊急事態宣言は発令されていませんが、現在の傾向を冷静に判断すれば、週明けに安倍首相が緊急事態宣言を発令すると予想されます。小池東京都知事、吉村大阪府知事が週末にとどまらず平日も外出自粛を要請し、東京、大阪がニューヨーク、ロンドン、パリ、ローマと同様の状況に陥ってしまわない保証はどこにも無いと言わざるを得ない状況です。

前回のこのコラムでは、3月5日〜9日の5日間、有楽町の東京交通会館で開催されるたんす屋の創業祭を延期か中止か強行かの判断を迷いながらも強行を決めた経緯を書かせていただきました。結果は、強行して大

正解でした。毎日多くの来場者に恵まれ、お越しいただいたお客様にはこの状況下でも開催して頂けたと、感謝の言葉を多く頂戴しました。当然ながらコロナウイルスの影響はありましたが、売上は昨年対比92・5%で、半減もやむ無しの思いで開催した結果としては大健闘でした。しかしながらこれから1カ月が経過し状況は大きく変わってまいりました。

状況一変 世界で感染拡大

先ずは東京オリンピックの延期決定が3月24日になされたことで、1カ月前には、まさかオリンピックを延期したり中止したりする事はありませんかと思っていました。

次に3月23日にコロナウイルス感染が発見した志村けんさんが、わずか6日後の20日に急逝されたニュースです。それまでは、コロナウイルスで亡くなる方たちの多くは80歳以上の既往症のある高齢者といったイメージでしたが、一気に身近な

コロナウイルスの難局を乗り切るために 自社でできることにエネルギーを集中



たんす屋HPより

恐怖に激変しました。更にコロナウイルス感染拡大の中心が、中国からヨーロッパそしてアメリカに急速なスピードで移行しています。現在(4月5日)全世界のコロナウイルス感染者数は、約119万人、死者数は6万4421人です。震源地中国は、感染者数約82万人、死者数3329人であるのに対しアメリカの感染者数約31万人、死者数8291人と感染者数で約4倍以上です。ヨーロッパ各国もスペインの感染者数約12・5万人、死者数約1万5380人、ドイツの感染者数約9・6万人、死者数14227人、フランスの感染者数約6・8万人、死者数7560人、イギリスの感染者数約4・1万人、死者数4313人とその数を急速に伸ばしています。つまり

欧米を追うリスク

これからの数字を見てから日本の感染者数3271人、死者数70人と比較すると極めて少ない数字であることがわかります。感染者数は、千人単位で四捨五入をすれば日本の感染者数は0・3万人になります。死者数でもイタリアのわずか0・5%です。

この現状を、日本のコロナウイルス対策が効果的に機能して、中国や欧米と比較して圧倒的に成果を上げている結果である、と安心して言えるでしょう。かもしつてあれば、素晴らしいことですが、これ以上の経済的負担も心配不要です。しかし、本日(4月5日)東京都で新たに143人が感染してい

ることが判明しました。1日の感染者数としては最多を更新し、東京都で1000人以上が感染したことになります。このトレンドを冷静に判断するならば、これから日本は欧米が経験している感染拡大を辿るリスクが少なからず存在していると言わざるを得ない状況です。

社内で

緊急事態宣言発令

私は社長として、4月6日に社内で緊急事態宣言を発令する覚悟を決めました。理由は明らかで、弊社にとって緊急事態に突入したと言わざるを得ない状況だからです。この週末も、たんす屋が出勤している多くの商業施設が臨時休業を決定し、たんす屋も休業を余儀なくされています。又、頑張って営業している店舗も、来場客数の極端な減少で売上を大きく落としています。更には、4月13日まで東武百貨店池袋

店で開催を予定しておりました「たんす屋祭り」や同じく4月末に小田急百貨店新宿店で開催が予定されている大型催事も開催そのものが危ぶまれてきています。そして5月の年間最大規模の「大決算エキサイティングバザール」(会場・天満橋OMM、東京交通会館)ですら、開催すべきか否かの判断を迫られています。



東京山善 (店名・たんす屋) 中村 健一 社長

1954年9月京都生まれ。77年カリフォルニア州立大学ロングビーチ校留学、79年慶応義塾大学卒業。同年東京山善入社、87年取締役京都支店長、91年常務、93年社長に就任。今に至る。